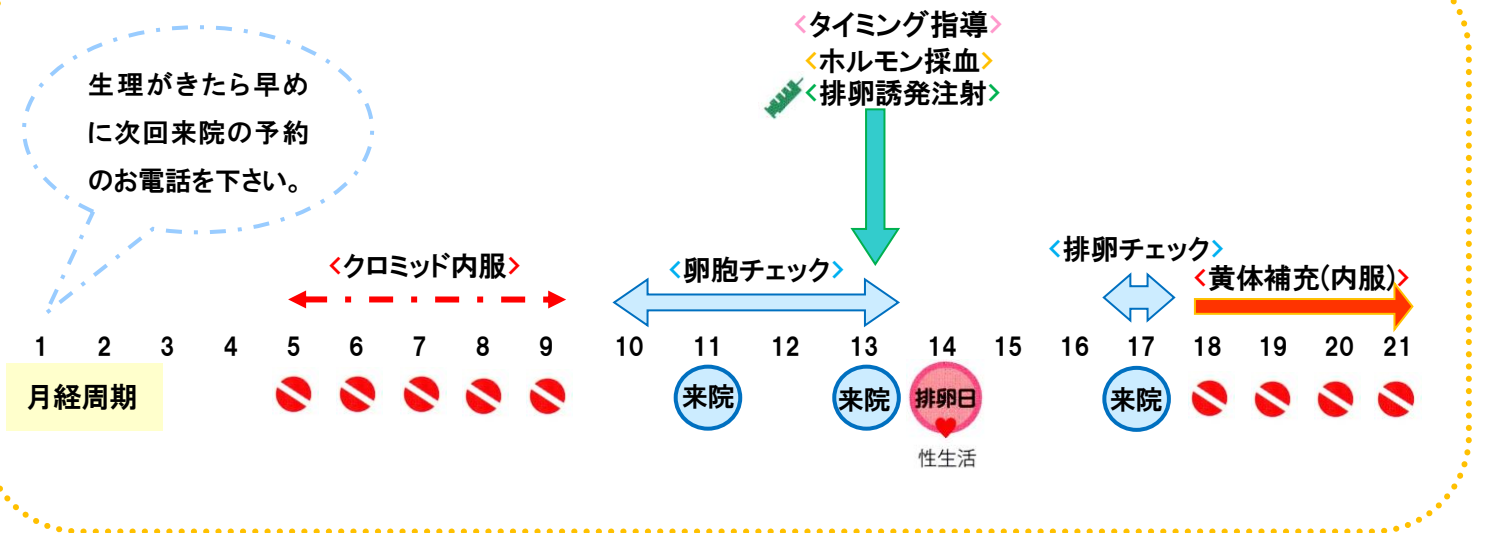


## ◆◆◆ 当院の不妊治療の流れ ◆◆◆

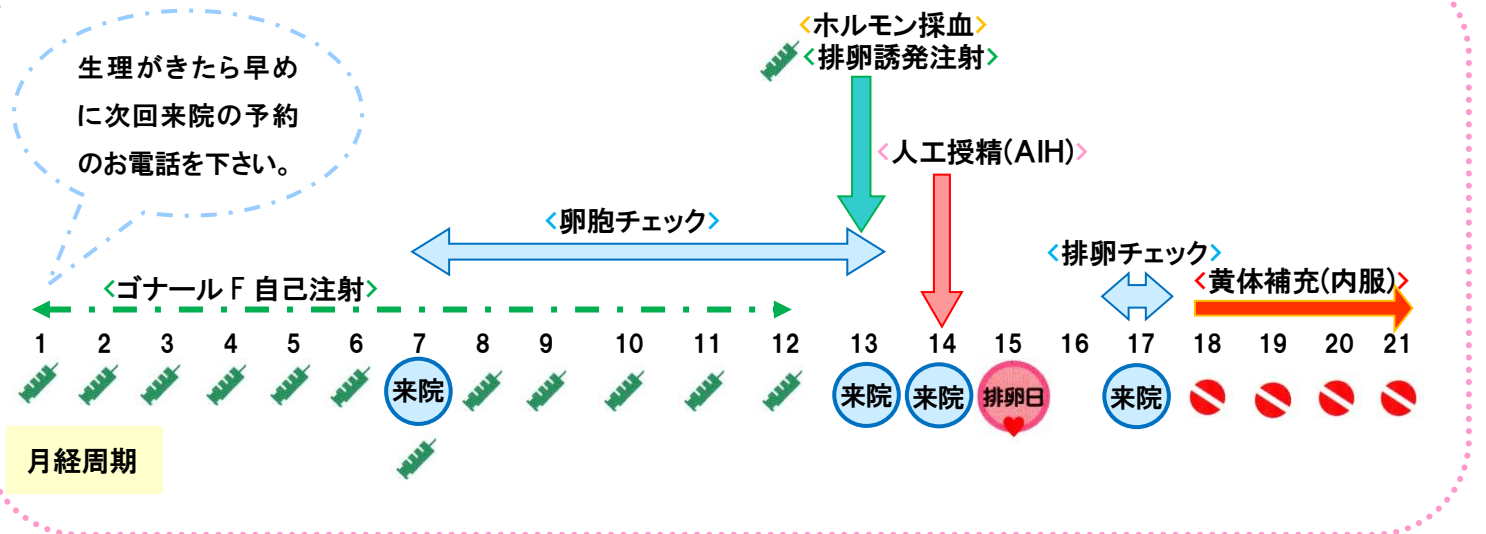
当院の不妊外来では、初診時に問診・経膈超音波検査・血液検査などを行います。次回以降は月経周期に合わせて来院していただきます。

不妊治療にはさまざまなステップがあり、大きく分けて3つの方法があります。一般的にはタイミング療法→人工受精(AIH)→体外・顕微授精とステップアップしていきますが、当院ではタイミング療法・人工受精(AIH)までを行っております。

### タイミング療法の治療周期スケジュール 一例



### 人工授精の治療周期スケジュール 一例



## ●経膈超音波検査

子宮・卵巣の形態や卵胞(卵子が入っている袋)の発育をみます。卵胞の大きさを測定することで、排卵日の予測をします。(=卵胞チェック)生理10日目～13日目の間に1～2回チェックします。(ただし、卵胞の発育には個人差があるため、来院日および来院回数は医師の指示によります。)

## ●排卵誘発

排卵に問題がある場合や正常な排卵周期があるにも関わらず妊娠出来ない場合には、排卵誘発剤を使用します。初めに飲み薬(クロミッド)を使用しますが、無効の場合にはゴナドトロピン注射に切り替えます。

《クロミフェン療法…月経周期の5日目からクロミッドを5日間服用します。》

《ゴナドトロピン療法…月経周期の1日目～5日目の間にゴナールF(自己注射)を開始し、卵胞が発育するまで連日続けます。》



卵胞が成熟したら、排卵作用のある注射をし、排卵させます。

《hCG注射(ヒト絨毛性ゴナドトロピン製剤)

…排卵の36時間前に自宅で腹部にご自身で注射していただきます。

ご自身での注射に抵抗のある方は、医師の指示する時間に来院していただき、院内で注射します。》

## ●タイミング療法

超音波(卵胞チェック・子宮内膜の状態)・排卵チェッカー・血液検査(ホルモン値)などから排卵日を推定し、性交日を指導します。卵胞チェックで来院する朝には、排卵チェッカーで尿検査をしてきてください。来院時に結果を受付にお知らせください。 ※ご自身での検査を忘れた場合には、院内で尿検査(¥1,000-税抜)をいたします。

## ●人工受精(AIH)

人工受精は、精子を採取し、洗浄・濃縮して精子を受精しやすい状態にしてから、排卵時期に合わせて子宮内に注入する方法です。

### 人工授精当日

人工受精当日は、ご自宅で採取した精子を2時間以内に持参していただき、院内で精子を洗浄・濃縮します(約30分)。その後人工受精を実施し、院内にて約30分安静後、帰宅していただきます。

### 排卵の確認

人工受精から数日後、きちんと排卵をしたかどうか超音波で確認をします。着床率を高めるために、黄体補充療法(内服または注射)を実施します。

## ●黄体補充療法

デュファストン内服…排卵後10日間、朝・夕食後に内服していただきます。